

コロナに負けるな 剣道行事再開に向けて

大阪版ガイドライン

このガイドラインは、新型コロナウイルスへの**感染拡大防止**を主眼として作成したものです。夏場からの行事再開なので、特にこまめな休憩、水分補給など**熱中症対策を必ず実施**してください。

公益社団法人 大阪府剣道連盟



再開に向けてのスケジュール

基本方針:「第二波」の勢いが衰えない中で
剣道がクラスターの火元にならないよう慎重に

	第1ステップ	➡	第2ステップ	➡	第3ステップ
パターン	対人自粛稽古		対人稽古再開		各地区行事再開 面マスク+シールド
必要条件	一方通行稽古		面マスク+シールド		ガイドライン(チェックリスト)徹底
移行時期	6/10～		7/1～		8/中旬～
判断基準	全剣連再開方針公表		大阪府の感染レベル		準備が整い次第

第3ステップ 剣道行事再開にあたっての共通認識です

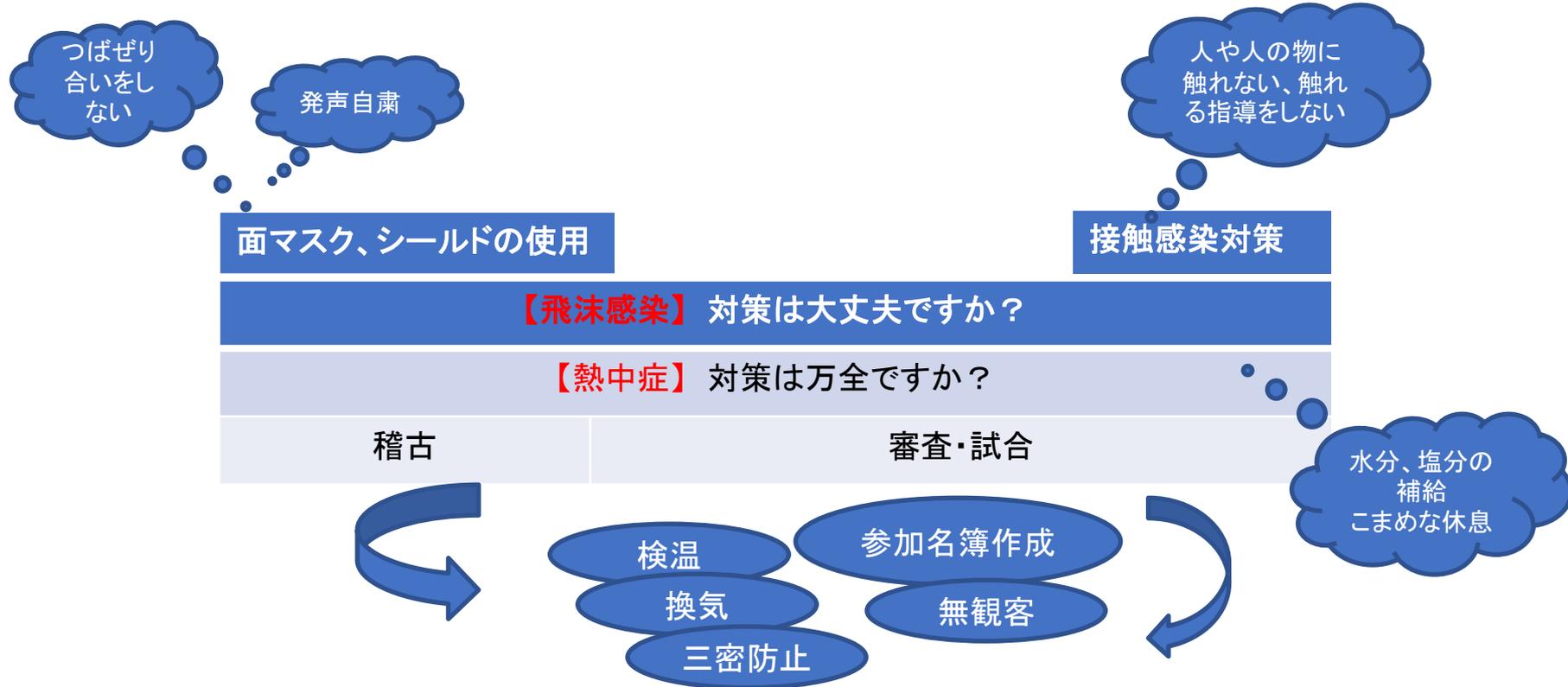
- ① 誰もが経験したことがない状況下での行事再開です
 - ⇒違和感がありやりにくいのは当然。新しいスタイルだと受け止めましょう。
 - ⇒少しずつやりながら慣れていくことしかありません。行動を変えましょう。
- ② 面マスク(必須)+シールド(推奨、60歳以上必須)
⇒自分の命を守るための必須アイテムとして理解しましょう。
- ③ 安全面と熱中症対策を徹底しましょう
 - 夏場からの行事再開なのでとりわけ熱中症対策として、特に審査。大会では独特の緊張を伴うため、こまめな休憩と水分補給対策を万全に行いましょう。

大阪府では「新型コロナウイルス」第2波の勢いが残っており、まだ油断できません

「感染拡大予防ガイドライン」をしっかり守って行事を再開しましょう！

(初版で示したガイドライン・チェックリストの詳細については以下に再掲します)

再度の注意喚起をお願いします



第3ステップ 行事再開に向けて まずは感染防止ガイドラインのチェックリストで徹底を図りましょう

参考「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（公財）日本スポーツ協会編ほか

<主催者>

1. 全般注意事項

- チェックリストを掲示する
- 定期的に巡回・確認する
- 障がい者や高齢者の特性に配慮する
- 万一の感染者発生に備え名簿を保存する
- 感染報告に備え行政所管と事前打合せ

2. 参加者募集時 確認事項

- 参加見合わせ確認
 - 体調不良(発熱・咳・咽頭痛)
 - 同居家族・身近な知人に感染疑い
 - 過去14日以内に外国から入国等
- マスク持参
(競技中の防護対策を含め各自で留意を)
- 手洗い・アルコール消毒実施
- ソーシャルディスタンス(2m)確保
- 応援等の大声禁止
- その他主催者の指示厳守
- イベント終了後2週間以内の発症注意

3. 主催者側の事前対応

- 手指消毒剤の設置
- 軽度の発熱等でも入場制限
- 人と人の対面場所には透明遮蔽板設置
- 参加者が距離を保てるよう目印
- スタッフはマスク及びフェースシールド着用
- 電子受付推奨
- 参加者名簿提出要求
 - 氏名・年齢・住所・連絡先
 - 当日の体温(or会場での検温)
 - 利用2週間前のチェック事項

4. 当日参加者への対応

- マスク等の準備
- 参加前後の留意点確認(三密回避等)

5. 当日主催者側の対応

- 手洗い場所設置
石鹸等、「手洗いは30秒以上」掲示
ペーパータオル、アルコール消毒液準備
- 更衣室、休憩・待機スペース確保
ゆとり確保(or入場者数制限)
更衣室管理、他団体との調整
触れる部分(取っ手、テーブル等)消毒
換気(or窓開放)
入退室前後に手洗い、消毒
- 洗面所
ドアノブ・水洗トイレトペーパーを消毒
トイレの蓋を閉めて汚物を流す
手洗い場には石鹸(ポンプ式望ましい)
「手洗いは30秒以上」等の掲示
使い捨てペーパータオル用意

- 飲食物の提供時
扱う前に手洗い、手指消毒
飲料は使い捨て(ペットボトル、紙コップ等)
大皿やめて、一人用に小分け
- スタッフはマスク及びフェースシールド着用
- 観客の管理徹底もしくは無観客も検討
密をさけて、席数を減らす等
大声の声援禁止
会話時は必ずマスクを周知徹底
- イベント会場十分な換気
換気設備の適切な運転
定期的に窓開放
- ゴミの廃棄
鼻水、唾液のついたゴミはビニール袋に密閉
ゴミ回収者はマスク、手袋着用
マスク手袋を外した後、石鹸・流水・手指消毒

<参加者>

1. 参加者が基本的に遵守すべき事項

- 参加見合わせ(書面で確認)
体調不良、家族知人に疑い
過去14日以内に渡航
- マスク持参
(競技中の防護対策を含め各自で留意を)
- ソーシャルディスタンス(2m)確保
- こまめな手洗い、アルコール消毒
- 大きな声での会話、応援禁止
- 主催者ルールに従う
- 終了後2週間以内に発症したら報告
- イベント前後のミーティング、懇親会の三密回避

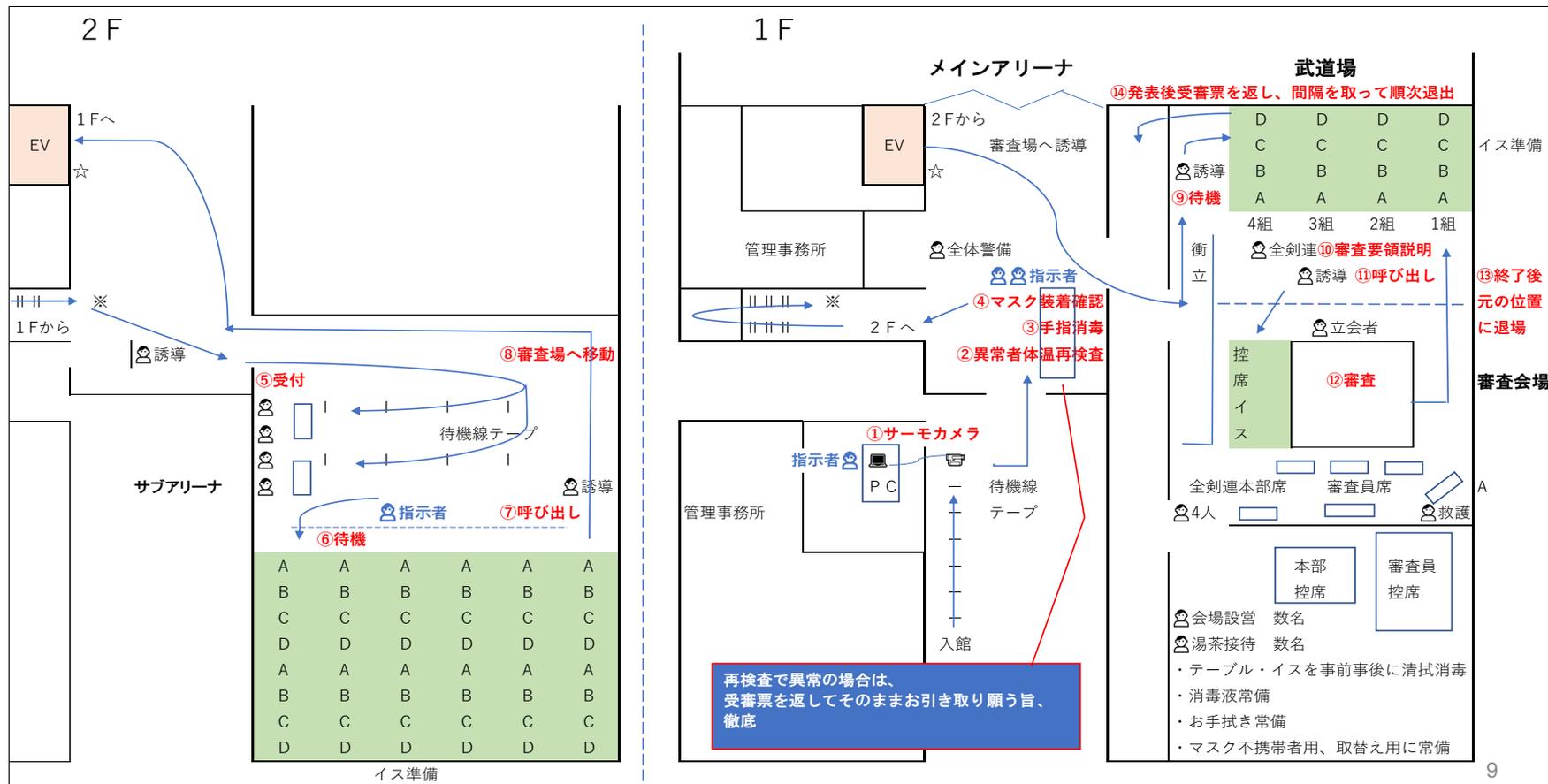
2. 参加者が運動する際の留意点

- 十分な距離の確保
- 位置取りの工夫
- 運動中の痰・つば禁止
- タオルの共有禁止
- 飲食は指定場所で
- 大皿、回し飲み禁止
- 飲み残しスポーツドリンク等は指定場所へ捨てる

参考事例

コロナ禍における初めての全国審査の運営状況について

2020.8.7 主催:全剣連、主管:和歌山剣連、於:和歌山・ビッグウェーブ



特に参考になった点

☆☆☆ スタッフの標準装備等

- ① マスク 原則・個人もち
- ② フェースシールド配布
- ③ 入館前チェック
 - ・ 体調・直近行動等確認シート提出(事前記入)
 - ・ 体温測定
 - ・ 手指消毒

☆☆☆ 行事運営方法等

- ① 入館から退館までの**交わらない動線**を明示すること
(ex.入館チェック→2F受付→待機→1F会場→退館)
- ② 異常者、ルール無視者に対して**権限を持つ指示者**を要所に配置すること
- ③ **サーモセンサー**は便利です
(大剣連で2台準備、貸出可(有料1日3000円))
- ④ **無観客、総入れ替え制**を徹底
- ⑤ **待機場所**をパイプ椅子等で明示、固定する
- ⑥ **受付の数**を対象別に増やし混雑を避ける

(参考)主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン

直近の全剣連通達 前述以外の参考項目抜粋

R2.8.27

【入場にあたって】

1. 選手並びに関係者は、**自宅と大会会場との往復の際にはマスク**を着用
2. できるだけ**着替えを行った上入場**
4. 選手は施設への入場時「確認票」提示
(ア) **確認票を持参しなかった者**は、原則として入場させない。
(イ) 試合会場内に**見学者、付き添い等**は入場させない。
6. **非接触型体温計等**により、選手・関係者の体温を測定
(ア) 体温測定により **37.5 度以上**ある者は入場できない。
7. **観戦者も**、入場に当たって原則体温測定を受けるとする。

【感染症が終息するまでの暫定的な試合・審判の方法】

1. **感染状況等踏まえながら**大会実施要項に定める。
2. 試合時間の短縮、延長戦は区切って行い休憩を取り入れる等、マスク着用による**熱中症対策**を積極的に取り入れる。
3. 全剣連ガイドラインに従い、試合者は、**鏝競り合い**を避ける。やむを得ず鏝競り合いとなった場合は、すぐに分かれるか引き技を出し、掛け声は出さない(引き技時の発声は認める)。審判員は鏝競り合いを解消しない場合は、ただちに「分かれ」を宣告する。
4. 審判員の試合場への入退場の際は、**1メートル以上**の間隔を空けて行ない、副審は試合**開始線の外側**を通り定位置まで進む
5. 合議は **1メートル以上**の間隔を空けて行う。
6. 試合終了後に当該試合の反省を行う場合は、**1メートル以上**の間隔を空ける。
7. 審判員は、試合時**マスク**を着用する。また、**各自の審判旗**を持参して使用する。各試合会場の審判員控席にアルコール除菌液を設置し、手指消毒を行う。

第3ステップ 剣道行事再開にあたっても
第2ステップの「対人稽古再開にあたっての約束」は続いています

「大阪版ガイドライン第2版」で再確認しておいてください

(約束の1) 剣道対人稽古を再開する前に「環境整備」を

(約束の2) 対人稽古再開に向けて「面マスク+シールド」装着を
なぜ、元気なのにマスクを着けなければいけないのか？

(参考) 感染拡大予防ガイドライン通達

(参考) 安全面と熱中症対策を講じた稽古方法の工夫・改善を

よくあるご質問 「発声について」・・・大阪版統一見解

Q

- 行事再開後は、発声してもいいの？
審査や大会ではどうなるの？

※声を出さない教え子を叱らないでください



A

まだ第2波の勢いが残る大阪府の
新規感染者の動向を踏まえて

◇ 稽古時については、
発声を自粛してください

<初版6P参照>せきやくしゃみやしぶきに乗って人から人へ飛沫感染する。床に落ちたしぶきからも感染の恐れがあります。まだ特効薬やワクチンがない今はかかっても治療法がない。感染の経路を断つため、当面は声を出さないことを推奨しています。声を出さなくても「気剣体の一致」はできます。

◇ 審査・大会時については、

大阪府では発声は合否等の基準に含めない。

なお、面マスク+シールド着装を徹底したうえで、自然に声が出るのはやむを得ないとしします。

いままで当たり前だった稽古。。。また稽古ができることに感謝して

コロナに負けるな剣道行事再開に向けて

大阪版ガイドライン 第3版

いまだコロナウイルスそのものの正体も定かでなく、
ワクチン・特效薬もなく、防護対策についても100%完璧なものではありません。
withコロナ時代の行事再開に向けて日々修正を加えながら対応して行かざるを得ない状況です。今後とも皆様方のご協力のほど、よろしくお願いします。

公益社団法人 大阪府剣道連盟

